

菊川市立六郷小学校

静岡県埋蔵文化財センター

令和6年7月18日(木)

出前授業レポート

「教科書や資料集から分かる知識で終わらせるのではなく、実体験を伴った理解にすることができて大変良かったです。」

菊川市立六郷小学校の6年生71人が、社会科の学習「知ろう！古代の人の暮らし」で、実体験を通して、教科書や資料集では学べないことに気づかせることを目的に、発掘調査や周辺遺跡の話と、土器の分類・石器の試し切り・火起こしの3つの体験を行いました。

発掘調査と周辺遺跡の話

初めに、センターの仕事を簡単に説明し、文化財を守ることの大切さを伝えました。次に、六郷小学校周辺の遺跡について話し、小学校が下田遺跡の上にあることを知りみんなビックリでした。

「六郷地区の遺跡の多さにビックリした。」



土器の分類体験

縄文土器・弥生土器・須恵器の3種類の完形土器と土器片を見比べながら分類しました。歴史の授業が平安時代まで進んでいたため、古代の歴史を思い出しながら行いました。それぞれの土器の作り方の違いや環境の違いが土器にあらわれていることを知り納得していました。

「社会科で学習したことを活かして分類できた。土器の色や厚さからいろいろなことが分かることを知れた。」



石器の試し切り体験

打製石器や磨製石器、黒曜石の本物を見て、金属が伝わる前の時代の暮らしを想像しながら石器の大切さを感じていました。また、野菜や紙などを切って黒曜石の切れ味を味わいました。

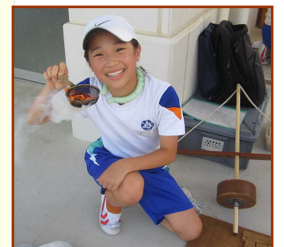
「切れ味の良さにビックリした。今でも使われていることも初めて知って驚いた。」



火起こし体験

「昔の人は苦勞して火をつけていたことが分かった。自分一人でつけられたときはうれしかった。」

梅雨明け当日の火起こしは大変暑く、汗が噴き出る中頑張りました。弾み車を回すのに苦勞しましたが、慣れてくると上手に回し、火種を作ることができました。火種が風で飛んでしまうこともありましたがフーフータイムを頑張り、なんとか着火できました。



先生方の感想

「教科書や資料集から分かる知識で終わらせるのではなく、実体験を伴った理解にすることができて大変良かったです。子どもたちの感想からも、充実した内容だったことが分かりました。昔の暮らしを知ることができる良い機会となりました。センターの職員さんには、子どもたちの反応を見ながらわかりやすく説明していただき嬉しかったです。とても暑い中の実施になってしまいましたが、子どもたちのために丁寧に対応していただき感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。」

